

戸田市税条例の一部を改正する条例

反対

日本共産党戸田市議団
本田 哲 議員

改正の市税には軽自動車税（環境性能割）の廃止が含まれる。自動車の環境性能割は取得時の環境性能に応じ段階的な課税を行うことができ、政策目的にも効果がある。しかし、環境性能割の廃止は自動車の脱炭素化を遅らせることにつながりかねず、CO₂削減、地球温暖化対策に逆行することから、専決処分の承認に反対する。

賛成

戸田の会
矢澤 青河 議員

本改正は被災された方への負担軽減「令和6年能登半島地震に係る固定資産税の特例」に関する申告手続きが含まれている。また、環境性能割の見直しは、国の方針に慎重な声もあるが、市が単独で制度の拒否や独自ルールをつくることは不可能。改正に合わせて条例を遅滞なくアップデートし、市民の納税環境と被災者支援の特例を守るための極めて妥当な措置である。

戸田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

反対

日本共産党戸田市議団
花井 あきこ 議員

子ども・子育て支援は社会全体で支えるべきであり、本来は国の責任で安定した財源を確保すべき。国民健康保険加入者に新たな負担を求めることは実質的な負担増で、物価高騰の中、市民生活にさらなる負担を強いている。制度を持続可能なものとするため、国庫負担を拡充すべきと考え、国民健康保険税条例の一部改正に反対する。

賛成

戸田の会
酒井 いくろう 議員

①国の政令改正に適切に対応し、法令との整合性を確保するとともに、適正な制度運営を維持するために必要な措置②低所得世帯の負担軽減に直結する有利な改正③国の制度改正に対応し、子ども・子育て支援納付金課税額の上限設定など適切な運用を図るための整備。以上の点から、市民への迅速な支援措置を滞りなく講じる行政対応であり、速やかに承認されるべき。

インボイス制度廃止と、事業者の負担を軽減する経過措置を改悪しないよう求める意見書を国に送付することに関する陳情

賛成

日本共産党戸田市議団
本田 哲 議員

インボイス制度の導入により、小規模事業所やフリーランスが消費税の納税義務を負わされ苦しんでいる。実態に背を向け、激変緩和措置を縮小し、数年後に廃止することは廃業の危機となる。市内の事業所などのくらしと命、くらしと生業を守るためにも本陳情に賛同する。

◇陳情第4号(令和8年) 自転車の新しい制度啓蒙に関する陳情

みなし採択※

◎戸田市公平委員会委員
おくずみ あきら
奥墨 章氏(再任)◎戸田市固定資産評価審査委員会委員
たべい としお
田部井 敏雄氏(再任)

《結果》いずれも同意(全会一致)

◇議員提出議案第3号 全てのケアラーに対する包括的な支援と法的枠組みの整備を求める意見書
◇議員提出議案第6号 再審開始決定に対する検察官の抗告を禁止する法改正を求める意見書

原案可決
原案可決

一般質問

そこが聞きたい！

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開催される定例会で、市政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

今定例会では、21人が一般質問を行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要で、質問者本人が執筆しています。

なお、各ページに掲載しているQRコードから、各議員の一般質問の録画配信映像をご覧ください。



樹木被害の未然防止を前進

Q 県内で被害が拡大する特定外来生物クビアカツヤカミキリ対策と、倒木事故防止に向けた樹木管理について、被害の早期発見体制や、外見から分かりにくい樹木内部の劣化への対応について市の考えを伺う。

A クビアカツヤカミキリが本市へ襲来することを前提に未然防止に努める。また、被害の兆候であるフラスなどについて点検項目への反映を検討するとともに、倒木リスクの軽減措置については、国のガイドラインも踏まえ、樹木点検の精度向上を図っていく。

意見 守るべき樹木はしっかり守り、危険な樹木は適切に管理する。そのための予防保全の視点に立った樹木管理がますます重要になると考える。緑の保全と安全確保の両立に向けた取り組みを要望する。

0～2歳児保育料負担軽減へ一歩前進

Q 上の子の卒園により下の子が第1子扱いとなり、保育料の軽減措置がなくなる現状があり、子どもの人数は変わらないにもかかわらず負担が増えることについて、市の認識と今後の対応を伺う。

A 令和8年4月に49人の児童で保育料が増額となり、平均で月額約2万3,600円の負担増が生じており、今後の検討課題のひとつとしている。0～2歳児保育料の段階的無償化の検討とあわせ、負担の在り方についても検討を進める。

意見 子育て世帯が安心して子どもを産み育てられる環境の充実に向けて、子育て支援のさらなる充実に取り組んでいただくことを要望する。



子育て世帯を応援